

# 森のおくりもの2月



ニホンリス（リス科）



写真：佐藤博美さん（宮城野区）

2月になり本格的な寒さになりました。1月の中旬までは、例年では考えられないほどの雪もなく暖かな日が続き、セリバオウレンが咲いたりもしました。しかし、その後、この時期本来のきびしい冬となり寒さはまだまだ続きそうです。森の中では、雪の上にはいろいろな野生動物の足跡を見ることができるようになっています。また、自然観察センター内には、ヒメネズミとアカネズミの生態展示が始まっており、愛らしさをふりまきながら皆様のご来館をお待ちしております。

【館長 菊池正行】

# ハンギングが得意♡ ノスリ (鴞)



晴れて澄んだ青空を、静かに旋回しながら飛んでいる鳥。トビよりも少し白っぽく見えたなら、それはきっとノスリです。下から見ると尾羽の形と体の色で見分けがつきます。そんな高いところからどうして見つけれられるの?と不思議でなりません、主にノネズミを狩り、食べて生きています。

眼が丸くて大きく、猛禽類にしてはかわいらしい顔つきで、トビと似ていますが、トビよりも羽根は白っぽく、体もずんぐりむっくりしている感じがします。

2月は遠くの空から、「ピーエー」と鳴き声が聞こえてくることしばしばあります。最後にジェーと鳴き方が変わったら、ノスリではなくカケスのモノマネかもしれません。



● 蟬膜 (ろうまく) が黄色だと成鳥、灰色だと幼鳥

● 茶褐色のはらまき

● 強力な脚で、ネズミを逃さない。両生類・爬虫類も食べちゃう

● スネに褐色斑があればオス

♪ ピーエー

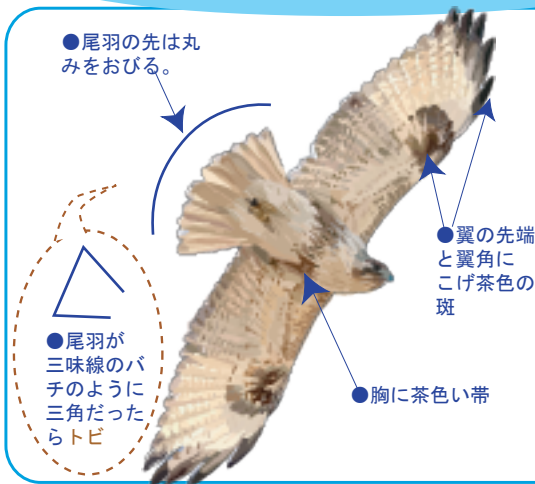
カラスと同じぐらい

【全長：♂約52cm ♀約57cm】

【翼開長：約100-140cm】

【体重：約500g-1300g】

## 飛び方を見よう



● 尾羽の先は丸みをおびる。

● 尾羽が三味線のバチのように三角だったらトビ

● 翼の先端と翼角にこげ茶色の斑

● 胸に茶色い帯

● 特徴的な飛び方は、ハンギングできるということです。(ハンギングとは、羽ばたかずに上向きの風を翼で受けるようにバランスを取りながら、停空飛翔すること)

この省エネ飛行で、空の上からエサ探しができるのです。風を読めるからこそなせる業です。

● トビに似ていますが、尾羽に丸みがあることと、トビより体が白っぽいことで区別できます。

【レンジャー：黒川周子】

\* 名前の由来：「のせ」がもとになって、野の上を滑降するので、のすり（野擦り）とかわった（奈良時代の文献にも「のせ」というタカ類がでてくる）  
「鳥名の由来辞典」（柏書房）より

(\*他に韓国語の猛禽類を表す「スリ」という言葉からきているという説もあります。)

## 2月の生物ごよみ

### 観察の森にやってくる冬鳥たち

今月は観察の森の周辺にやってくる冬鳥たちを特集します。必ず見られるわけではないですが、タイミングがあれば出会えるかも？！

名前	大きさ / 季節	特徴
 ウソ	16cm / 冬鳥 漂鳥	小さい群れで行動する。オスは頬から喉にかけて赤い。雌は茶色がかった灰色をしている。「フィ フィ フィ」と口笛を吹くような声で鳴く。植物の種子や木の芽を食べて過ごす。
 マヒワ	12cm / 冬鳥	ハンノキ類の種子が好物でその近くで出会うことがある。地鳴きは「チューン」「チュピ」などと鳴く。数十羽の群れで見かけることが多い。
 ベニマシコ	15cm / 漂鳥	マシコはサルスの古名。ニホンザルの顔のように赤いことからこの名前がついた。(雌は全身が茶色。) 「フィツ」「フォ」という地鳴きがよく聞かれる。草やぶで植物の種子などを食べる。
 クイタダキ	10cm / 漂鳥	頭の黄色が特徴。雄はそれに赤が入る。日本の小鳥の中ではミソサザイと並び最も小さく、体重は5gほどしかない。針葉樹林の枝先で小さな虫などを食べる。
 ツグミ	24cm / 冬鳥	雄、雌ともほぼ同色だが、1羽1羽微妙に模様が違うので比べてみると面白い。市街地や公園などでもみられ、昆虫やミミズなどを捕らえて食べる。
 ジョウビタキ	14cm / 冬鳥	毎年、冬鳥の一番手として紹介され10月の中頃には出会うことができる。雄、雌とも1羽ずつなわばりを持ち、食料をめぐる喧嘩をする。車のドアミラーに写った自分の姿に攻撃をしかけることもある。
 ルリビタキ	14cm / 漂鳥	雄は鮮やかなブルーをしていて、パードウォッチャーにとっては人気の高い小鳥。しかしその色になるには3年ほどかかり若雄は雌とよく似る。「ヒッ ヒッ」と高い声で良く鳴く。地鳴きはジョウビタキに似る。

【レンジャー：齋 正宏】

※冬鳥 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。

※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。

このコーナーでは、森の中で見つけたかわいいものや不思議なものなど、ちょっと気になるあれこれを取り上げていきたいと思ひます。

## はっけんメモ その21

## 『季節によつてころもがえ？』

## 森の小さな狩人～テン～』

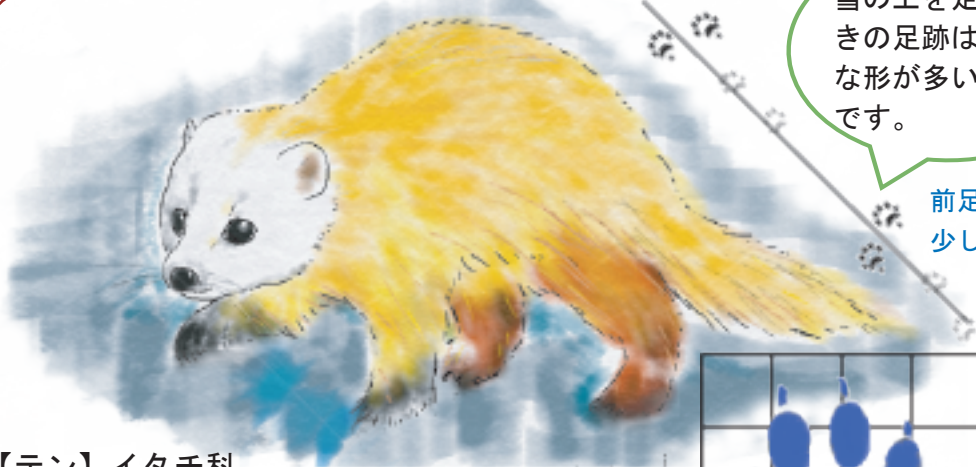
観察の森にはイタチの仲間【テン】が棲んでいます。

冬は顔が白く、体は黄色や茶褐色の美しい姿をしています。では夏は？頭と手足は黒色、胴体は茶褐色に変化。パツと見では同じ動物に見えないほどの違いです。

毛皮は色が違うだけでなく、季節によつてその機能もだいぶ違います。

冬毛の時は雪の上にも体の下にある雪がほとんど溶けないほど保温力に優れているとか。

といつても昼間に姿を見せることはまれで、明るい時間に見つけられるのは足跡とフンだけ。まだ暗い森の中でテンが何をしていたのか、足跡を追いかけて想像がふくらみます。



雪の上を走つたときの足跡は、こんな形が多いみたいです。

前足の方が、少し小さめ

## 【テン】イタチ科

本州に住んでいるのは【ホンドテン】

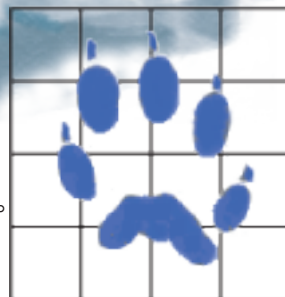
胴長短足のかわいらしい体形。イタチよりも大きい。

体長：40～50cm/尾長：17～23cm

体重：0.8kg～2kg（イタチは500g前後）

好きな食べ物：小動物（ネズミ、ウサギ、鳥）、昆虫、果物など

○石の上や階段の上など目立つ場所にフンをすることが多い。自分のいる場所を示して、仲間と連絡を取り合っている。桑の実の時期には桑の種が多く含まれるなど、そのときに何を食べていたのかがわかる。



およそ

幅 3cm

縦 4cm



## 新人レンジャーの観察日記

去年の春、私が新人でこの観察センターに勤め始めたときに、センター内の展示物のひとつにネズミの飼育ケースがありました。来館した子ども達もガラス張りになっている大型のケースの中で、枯葉や木の根に隠れているネズミを見つけては歓声を上げていた人気の展示物のひとつでした。

一般的にはネズミというと大型のドブネズミを連想して、あまりイメージがよくないのかもしれませんが、森に棲むネズミ達はどちらかというともハムスターに似て可愛らしい表情をした小型のネズミが多いのです。山地に棲むネズミを直近で見られる機会はあまり無いので、ぜひセンターで飼育している野ネズミを実際に見てほしいと思います。きっとキュートな表情の野ネズミに、今まで抱いていたネズミのイメージが一変するかもしれません。

そして冬になりいよいよ今度は自分がその展示用の飼育ケースの準備をすることになりました。センターの近くで捕まえたネズミは、先輩レンジャーが用意した住み家のケースにちんまりと落ち着きホッとした様子です。人も小さな動物も隠れ処のような狭い場所はなんとなく落ち着くものなんですね。ネズミの安心した表情は暖かいコタツに潜ってテレビを見ている人のようで、平和な気持ちにさせてくれました。 【レンジャー：阿部 正明】

### 『ちょこっと説明』

山や森などに棲んでいる代表的なネズミはアカネズミとヒメネズミの2種です。体の色が赤褐色なのは同じですが、ヒメネズミは木登りは得意ですが、アカネズミは木登りは苦手で、主に地上でだけ生活しています。



《まだ眠そうなお顔のアカネズミ》

# 2月のイベント&お知らせ

## ◇「動物のフィールドサインを探そう」

・森の中に残された足跡や食痕から、観察の森にどんな生き物が暮らしているのか探ります。  
**【日 時】** 2月13日(土) 午前10時～11時半  
**【服 装】** 暖かく歩きやすい服と靴  
**【定 員】** 20人  
**【持ち物】** 観察用具(双眼鏡の貸出あり)  
**【申込み】** 2月6日(土) 午前9時から電話受付

## ◇「バードケーキと小枝の小さな餌入れ作り」

・窓辺に野鳥を呼んでみよう!  
 野鳥のごはん”バードケーキ”を作ってみませんか?  
**【日 時】** 2月21日(日) 午後1時半～3時半  
**【参加費】** 200円/1人 **【定 員】** 20人  
**【服 装】** 動きやすい服装で(天気が良ければ外に出ます。)  
**【持ち物】** 剪定ばさみ、軍手  
**【申込み】** 2月7日(日) 午前9時から電話受付

## ◇工作コーナー「木の実でつくる、お雑さま」

・木の実や小枝を使って自由にクラフトできる工作コーナーを設置します。  
**【日 時】** 2月27日(土)、28日(日)  
**【受付時間】** 午前10時～午後3時半  
 (材料がなくなり次第終了)  
 ※事前申し込みは必要ありません。  
 受付時間内に観察センターにお越しください。

3月予告! 8月イベント「虫のいどころ」  
 齋藤先生による講話会

## ◇おもしろ昆虫講座「見落としがちな、小さな自然」

・目をこらさないと見つけれない。あなたの身近なところにいる森の小さな仲間たち。昆虫の世界のお話です。  
**【日 時】** 3月19日(土) 午後1時半～3時半  
**【定 員】** 40名〔先着〕  
**【持ち物】** 筆記用具など  
**【申込み】** 3月6日(日) 午前9時から電話受付

## ◇「小鳥のレストラン」を開いています! 3月31日まで

・えさ台に集まる野鳥を、あたたかい部屋の中から観察できます。  
 ◇12月から3月まで冬季のガイドウォークは午前1回です。  
 ・冬季(12月から3月まで)は午前10:00～11:30のみの開催となります。

毎週  
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

2月の開催日は  
7日、14日、21日、28日です。

開催時間:午前 10:00～11:30

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。



表紙の絵や  
原稿を募集  
しています。

里山や自然に関するものを  
描いて(書いて)ね!  
レンジャーからのプレゼント  
があるよ!!

2月の休館日

1日、8日、  
15日、22日、  
29日



♪森へおいでください♪

### 宮城交通バスの場合

① 釜谷台駅 7番のりば 乗車時間 約14分  
 ② 長町駅西口 3番のりば 乗車時間 約15分  
 ③ 八木山動物公園駅 6番のりば 乗車時間 約15分  
 (行先) ①②③ 「太白地区総合山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
 (乗車のみ乗車可) 太白地区総合山田自由ヶ丘ニュータウン行  
 いずれも豊宮アパート前 下車→徒歩15分

### お車の場合

国道288号線の山田交差点から太白団地方面へ、  
 道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩6分でセンター



スタッフBLOG開始しました!  
 自然観察の森の最新情報、「森のおくりもの」  
 バックナンバーはWebでチェック!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2016年2月号(毎月1回5日発行)  
 発行:(公財)仙台市公園緑地協会  
 編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター  
 〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63  
 電話:022-244-6115 FAX:022-244-6133  
 E-mail: [taihakusan\\_moushikomi@endai-green-association.jp](mailto:taihakusan_moushikomi@endai-green-association.jp)